

伊豆の国市立葦山中学校

学校だより 8月

Vol.5

～明日に希望を持ち、今日を頑張る生徒（学校教育目標）～



夏休みの思い出

学校長 鈴木二三哉

平成7年2月、葦山中のグラウンドの片隅に1本のりんごの木が植えられました。これは、当時の鈴木貫太郎校長の知り合いの方のご好意で、本校に送られたものです。このりんごの木とは、かつてニュートンが万有引力の法則を発見するきっかけとなったりんごの木の子孫です。本来、この木は、生徒たちが「科学する夢」を育ててほしい、という願いから植えられたものでした。

昨年、この木に4つの実がつけました。しかし、やはりニュートンのりんごの木です。その実も、落ちるために結実したかのように、ピンポン玉ほどの大きさで夏休み前に落下しました。

ところが、今年は、夏前には30個ほどの実を付け、夏休みが終わろうとした今も10個程度のりんごの実が枝にしがみついています。中にはテニスボールほどの大きさで、赤みがかったものも見えます。

残る問題は、味です。

先日、わたしは、中でも大きいものをもぎ取り、皮をむいて先生方に振舞いました。りんごを食べた先生方からは様々な感想が聞けました。

「お～。りんごの味だ。」（最初からりんご、って言ってるよ。）

「万有引力の味がする。」（どんな味なんだっ、て。）

どうやら、先生方に「科学する夢」を育てるには、別の方法が良いようです。私は食べませんでした。翌日以降の先生方で腹痛を起こした人がいないことを確認してから、もっと成長したものを食べる予定です。

おだやかな夏休みだったと思います。女子テニス部の全国大会出場は、圧巻でした。2年生の岩本さんは、所属するクラブチームで女子公式野球の大会で全国優勝を果たしました。各自が各自にとっての、意義ある夏休みを過ごしたと信じます。

静岡県内では、りんごの木は珍しいと思います。ましてや、ニュートンのりんごの木などは、そんじょそこらにざらにあるものではありません。この夏の思い出に、関心のある方は、ぜひ、実の落ちる前に一度見に来てみてはいかがでしょうか。

青雲祭に“かける想い”

夏休みが明け、9月16日(土)開催の青雲祭体育の部に向けた練習が本格的にスタートしました。

H29 青雲祭スローガン

シンボルマーク

全力疾奏
～1人1人が主人公～

スローガン作成:3-2 山岸真子さん

シンボルマーク作成

3-1 小沼龍希さん、3-5 菊地香帆さん

2-2 佐々木虎鉄さん

青雲祭は、各学年が5つのカラーに分かれ、それぞれのカラーで順位を競い合います。今年度のカラーは以下の通りです。



	赤色	青色	黄色	緑色	桜色
クラス	1-2 2-2,2-5 3-1	1-4 2-1 3-2	1-1 2-4 3-3	1-5 2-6 3-4	1-3 2-3 3-5

そして、この青雲祭を引っ張る実行委員に、今年の青雲祭に“かける想い”を綴ってもらいました。

蒔中生の心にずっと残るような最高の青雲祭にしたいです。「体育の部」「文化の部」共に感動できるものにするためには、一人一人の熱い気持ちが大切です。蒔中生全員で素晴らしい青雲祭にしていきたいと思います。

青雲祭実行委員長 3-4 相馬梨良

今年の体育の部は、応援合戦や新しい種目などで、貴重なものになると思います。それも含めて例年よりもみんなの思い出に残るような体育の部にしたいです。さらに、蒔山中の挨拶ができる場所、礼儀正しいところなど、良いところが多く見られるような最高の行事にみんなです。

体育の部実行委員長 3-2 田代愛莉

青雲祭文化の部まで、あと1ヶ月。体育の部に至っては、約2週間しかありません。そんな短期間の中でも、全校生徒の一人一人が、優勝・金賞を目指して、切磋琢磨していく。今年もその姿が見受けられるでしょう。僕は、文化の部の実行委員長として、みなさんの『熱い想い』に応えるべく、これからも一層の努力をしていきます。蒔山中学校史上、最も盛り上がる青雲祭にしましょう。文化の部実行委員長 3-3 鈴木悠太郎

全国大会出場“女子テニス部”

この夏の中体連、静岡県大会で見事に“優勝”し、東海大会も勝ち抜いた女子テニス部が長崎県で開催された全国中学校総合体育大会（略称：『全中』）に出場しました。女子テニス部は6年ぶりの全中出場でした。結果は、1回戦北信越代表の城端中（富山）と対戦し、1-2の惜敗で長い戦いの幕を閉じました。

以下、部長の草場さんに、全中までの取り組みを振り返って綴ってもらいました。

8月20日に長崎で行われた全国大会に出場することができました。全中出場が決まったとき、今まで頑張ってきたことが報われたように感じられ、とてもうれしかったです。全国大会で勝つことはできませんでしたが、目標だった全国大会出場を果たすことができたのは応援してくれた仲間や今まで支えて下さった先生方のおかげだと思っています。この貴重な経験を今後の生活に生かして行きたいです。

部長 草場 遥



台風・大雨等による災害時の対応について

学校が再開しました。天候による生徒の登下校について、以下の場合についての確認をお願いいたします。（台風・暴風・大雨等の場合）

<登校前>

- ① 前日に台風接近等のため翌日の悪天候が予想される場合

前日の夕方から午後9:00までの間に、翌日の「登校」「自宅待機」「休校」のいずれかを判断し、マメールにて一斉配信します。

（*連絡のない場合は通常登校です）

- ② 朝6:00の時点で「伊豆の国市」に「暴風警報」が発令されている場合
自宅待機とします。

午前10:00の時点でも**暴風警報が発令**されている場合→**休校**

午前10:00の時点で**暴風警報が解除**されている場合→**登校**

警報が発令されていても風雨が弱まり、天候回復が予想される場合など、マメールにて連絡します。

（*「登校」となった場合でも、居住地域の状況で保護者が危険と判断した場合には登校を見合わせる等、安全を最優先して下さい）

③ 「大雨警報」「台風接近」等により登校の判断が難しい場合

朝 6:00 の時点で判断し、6:30 までに「登校」「自宅待機」「休校」を
マメールにて一斉配信をします。（*連絡のない場合は通常登校です）

<登校後:在校中>

気象情報を基に、早めの判断に努めます。終業時刻を待たずして下校
させる場合もあります。その際はマメールにて連絡します。



の主な行事

- 5 日(火) 学力調査・課題テスト
- 7 日(木) 英語弁論大会・PTA 支部長会
- 12 日(火) 青雲祭総練習
- 16 日(土) 青雲祭体育の部
- 26 日(火) 学年専門委員会
- 28 日(木) 中央委員会



【スクールカウンセラー勤務日】

9/1、8、15、22、29

様子が違う、困った、話してみよう
等相談希望の問い合わせについ
ては、教頭又は村田へ

編集後記

8 月 19 日(土)1 年生、1 年生保護者、PTA 役員による奉仕作業が
行われました。約 2 時間の作業の途中で、心に残る忘れられない会話をさ
せていただく機会がありましたので、報告させていただきます。

それは、作業終了の 30 分くらい前だったでしょうか？

1 年生保護者:「教頭先生、まだ作業途中なのにすみません、この後、仕事があるの
で、先に失礼させていただきます。」

教頭:「えっ、今日お仕事だったのに、この暑い中手伝って下さったんですか？」

1 年生保護者:「他にお手伝いできる機会がなかなかないので…、2 学期もよろしくお
願います。それでは。」

このような感じの会話でした。今まで、部活だからとか、仕事だからとか、疲れてい
るから等々何らかの理由をつけて、自分の息子・娘の通う学校に何も協力できてい
なかった自分が情けなく、恥ずかしくなりました。あの後、仕事に行かれたお父さ
ん、さぞかしその日は、疲れたことと思います。これを読んだ蕪中生のみなさん！
家に帰ったら、お手伝いでもいいです、(昭和っぽいですが)肩たたきでもいいで
す、何でもいいです、さっとみなさんの保護者は「いいから自分のことを優先しなさい」と、おっしゃると思いますが、「いつもありがとう！」の言葉を添えて、蕪中生らしい
温かいかわりを…お願いします。そして、青雲祭や参観日で、一段と成長した
姿を見てもらいましょう！2 学期もよろしくお願いします。



『明日に希望を持ち、今日を頑張る蕪中生』へ向け、学校外や地域での特筆すべきあらわれ等
がありましたら教頭までご連絡下さい。「蕪中生のために」ともに連携を深めていきたいと思
います。